

医療事故情報収集等事業 第66回報告書のご案内

1. 集計報告（対象：2021年4月～6月）

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業

表1 報告件数及び報告医療機関数

	2021年			合計
	4月	5月	6月	
報告義務対象医療機関による報告件数	312	335	418	1,065
参加登録申請医療機関による報告件数	58	31	38	127
報告義務対象医療機関数	273	273	274	—
参加登録申請医療機関数	844	847	849	—

(第66回報告書 16頁参照)

表2 事故の概要

事故の概要	2021年4月～6月	
	件数	%
薬剤	78	7.3
輸血	5	0.5
治療・処置	363	34.1
医療機器等	27	2.5
ドレーン・チューブ	92	8.6
検査	47	4.4
療養上の世話	352	33.1
その他	101	9.5
合計	1,065	100.0

(第66報告書 17頁参照)

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業

1) 参加医療機関数 1,291 (事例情報報告参加医療機関数 674施設を含む)

2) 報告件数 (第66回報告書 20頁参照)

①発生件数情報報告件数：256,578件

②事例情報報告件数：6,412件

2. 事例の分析

今回、「分析テーマ」で取り上げたテーマは下記の通りです。

(1) 外来化学療法室で行う抗がん剤治療に関連した事例 【24～54頁参照】

(2) カテコラミン製剤の交換が遅れたことにより持続投与が中断した事例 【55～66頁参照】

3. 再発・類似事例の分析

これまでに、「分析テーマ」や「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が報告されたテーマを取りまとめています。今回取り上げた再発・類似事例の分析のテーマは下記の通りです。

(1) 製剤の総量と有効成分の量の間違い (医療安全情報 No.9) 【73～83頁参照】

(2) MR I 検査室への磁性体 (金属製品など) の持ち込み (医療安全情報 No.10、第2報 No.94) 【84～98頁参照】

(3) 胸腔ドレーン挿入時の左右の取り違い (医療安全情報 No.99) 【99～107頁参照】

*詳細につきましては、本事業ホームページ (<https://www.med-safe.jp/>) をご覧ください。